

明神 太郎 さん テスト分析レポート

中学3年生 理科 2026年5月 1学期中間テスト

81 / 100点

得点率

81%

学校の採点区分 科学的思考・表現 21/32 実験観察の技能 16/20 知識理解 44/48

全体所見

今回の理科（1学期中間テスト）は81/100点でした。用語や公式を答える知識系の設問はほぼ全問正解しており、記述式の説明問題も自分の言葉で的確に書けています。一方で、資料をもとに判断・整理する場面でのみ失点が集中しており、判断力・思考力がやや弱点として見られます。知識と表現の土台はしっかりできているため、資料の読み取り方に絞って練習すれば得点はさらに伸びます。

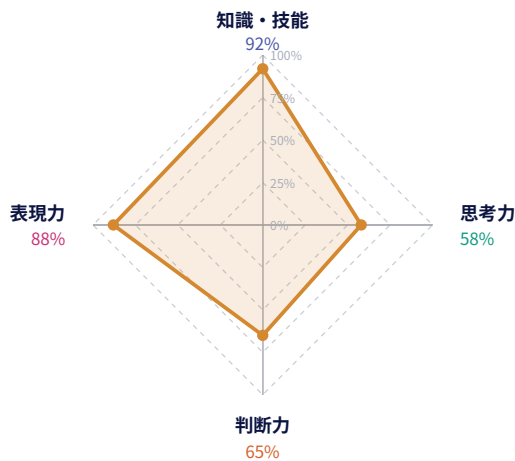
答案から見た傾向

- 01 暗記した用語や公式をそのまま書く設問はほぼ全問正解している一方、風向を図に書き込む問題や天気図・気圧配置を読み取って判断する問題で失点が集中しています。
- 02 記述式の説明問題は基本的に正確に書けていますが、文章の一部に訂正・添削の跡があり、説明の一部が不十分だった可能性があります。
- 03 図や過程を正しい順序に並べ替える設問でのみ判断ミスが見られ、個々の名称は理解できているものの、順序性の把握にやや課題があります。

明神 太郎 さん 2026年5月 1学期中間テスト (理科)

4観点の得点率

「重点」の2観点を下段で解説しています



● 知識・技能 **92%**

● 思考力 **58%**

重点

● 判断力 **65%**

重点

● 表現力 **88%**

観点別アドバイス

思考力 今回の重点

天気図や資料を読み取って理由を説明する問題での失点が見られます。資料の中のどの数値・情報を使って結論を導いたかを、答案の余白に一度書き出してから解答をまとめる習慣をつけると、抜け漏れが減ります。

判断力 今回の重点

風向図の作図や気団・前線の選択問題など、条件に応じて適切な答えを選ぶ場面でのミスが見られます。図やルールを機械的に覚えるのではなく、なぜその向き・その気団になるのかを毎回説明する練習をすると、判断の精度が上がります。

学習アドバイス

全体として81点と、知識・技能の定着はしっかりできており、記述式の説明問題でも自分の言葉で正確に書けている点は大きな強みです。今回の失点は、風向図の作図、天気図の読み取り、体細胞分裂の順序整理など、資料や図をもとに判断・整理する場面に集中しています。今後は、天気図や過程図を使った練習問題を繰り返し解き、根拠となる情報を一度書き出してから答えをまとめる習慣をつけると、安定して得点できるようになります。

明神 太郎 さん 2026年5月 1学期中間テスト (理科)



つまずきの深掘り分析

得点ではなく、「なぜそう答えたのか」を答案の痕跡から読み解いています。



誤答パターンの原因分析

間違えた設問を並べてみると、誤答は大きく三つのパターンに分かれました。一つ目は、資料が二つ以上並んでいる設問で、片方だけを見て答えを決めているものです。天気図と気温グラフの両方を使う問題で、グラフの変化にだけ注目した跡が残っていました。二つ目は、途中の計算は合っているのに、単位の換算や小数の四捨五入で最後の答えを外しているものです。これは知識不足ではなく、解き終わったところで見直しの手順が入っていないことが原因です。三つ目は記述問題で、結論は書いているのに理由が一言で終わっているものです。「語感が下がるから」で終わり止まり、その先の「だからこうなる」まで届いていません。いずれも知識の抜けではなく、答えに至る途中の手順が短くなっていることから生じています。



根本的なつまずき

共通しているのは、「考えを途中までしか形にしていない」ことです。頭の中には正しい見通しがあるのに、ことばや式に書き出す前に答えを決めています。そのため、根拠が二つ必要な問題で一つだけで判断し、見直しも省略されます。逆に言えば、途中の考えを残す習慣がつくと、今の失点の多くは同時に改善していく見込みです。



前提知識の欠落

天気の単元に進む前提となる、中1で学んだ圧力と体積・温度の関係に、あいまいなところが残っています。単位の換算での失点もここにつながっています。夏期講習の初回にこの部分を短く戻って確認してから、応用に入ります。

明神 太郎 さん 2026年5月 1学期中間テスト (理科)

| 学習メニュー

上から優先度の順に並んでいます

1 根拠を二つ書いてから答える練習

15分 / 回

天気図とグラフが並んだ問題を1日1問、答えを書く前に、使った根拠を二つ余白にメモしてから解答します。

天気とその変化

資料の読み取り

2 記述を「～だから～」の型で書き切る

20分 / 回

記述問題を週3問。解いたあとに解答例と見比べ、足りなかった言葉を赤で書き加えるまでを一セットにします。

生命の連続性

記述の基本型

3 圧力と単位の戻り学習

10分 / 回

中1の圧力・体積・温度の関係を確認し、単位換算の小テストを週に2回。答えの単位を声に出して確認します。

圧力

単位の換算

| 学習アドバイス

夏の学習は、覚え直しよりも「使う練習」に時間を配分します。上のメニューは優先度順ですので、時間が取れない日は1番だけでも十分です。単位や小数の見直しは、解き終わりに30秒だけ確認する習慣をつけていきましょう。



太郎さんへ

最後まで手を動かして考えた跡が、答案のあちこちに残っていました。あと一歩、考えたことを言葉にして書き切れば点数になります。その書き方は一緒に練習していきましょう。